

第9回(2017年)

高知オレンジリボン キャンペーン 活動報告書



オレンジリボンキャンペーンとは？

趣旨

児童虐待に関する相談件数は増加の一途をたどっており、社会全体で早急に解決すべき課題となっています。高知県内でも平成26年12月末、3歳女兒が母親と叔母から暴行を受け亡くなるという痛ましい事件が発生しました。二度とこのようなことが起こらないためにも、虐待の発生予防、早期発見、早期対応が重要です。これらの総合的な支援や対策には子どもや子育て家庭に携わる援助関係者や地域の人々の理解を深めていくことが不可欠です。このため家庭や学校、地域など、社会全般にわたり児童虐待防止に対する深い関心と理解が得られることを目的として、オレンジリボンキャンペーンを行っています。

オレンジリボンキャンペーンの始まり

平成16年9月、栃木県小山市で2人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から投げ込まれ亡くなるという痛ましい事件がありました。「二度とこのような悲劇がおこらないように」との願いから、オレンジリボンキャンペーンは始まりました。

シンボルのオレンジリボンについて…

オレンジ色は里子である子ども達が選んだ色です。オレンジリボンには「お話ししましょう、気持ちを分かち合いませんか。自分の気持ちに気付くことは子ども虐待の予防につながります」というメッセージが込められています。

高知県では

2009年より高知県内各市町村、地域の方々、企業や団体にご協力いただき、(社福)高知県社会福祉協議会、高知県児童養護施設協議会、高知県児童家庭支援センター協議会が中心になりオレンジリボンキャンペーン実行委員会を結成し、子ども虐待防止のオレンジリボンキャンペーンに取り組んでいます。

今年で9回目になり、一人でも多くの方に虐待防止に関心をもっていただき、子どもを地域で守り育てる意識をもっていただけるよう活動しています。

高知オレンジリボンキャンペーン2017

平成29年度「高知オレンジリボンキャンペーン2017」も、皆様のご協力・ご支援をいただき、無事に終えることができました。心から御礼申し上げます。

今年度は四万十市で講演会を、高知市内でたすきウォークを開催し、多くの方に参加をいただくことができました。高知県でオレンジリボンキャンペーンをスタートして9年が経過し、少しずつではありますが地域に根付き、広がってきたように感じています。

「オレンジリボン」を知っていただくことから、次のステップへ。

「子どもと家族の笑顔のために」を合言葉に、地域ぐるみで子どもたちが健やかに笑顔で育まれ、子育てが家族より子育てしやすい環境になり、子育てで混乱がなくなるよう、今後も継続的にオレンジリボンキャンペーンに取り組んでまいります。

今年度の活動内容を報告書としてまとめましたので、ぜひみなさんご覧いただければ幸いです。今後とも一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

実行委員長 谷本 恭子(高知県児童養護施設協議会 会長)
(児童養護施設 高知聖園天使園 園長)

高知オレンジリボンキャンペーン 2017 活動内容

講演会



日にち 平成29年10月14日(土)
 講師 愛知県心身障害者コロニー中央病院
 児童精神科 医長 吉川 徹 氏
 テーマ 発達障害と愛着障害
 会場 四万十市社会福祉センター 2階 大会議室
 参加者 121名

アンケートより
 ・発達障害の子と、虐待を受けた子は、似ているという事を知って驚きました。これから先子ども達と関わっていく中で、参考にさせて頂きたいと思います。



たすきウォーク 実施日 平成29年10月28日(土)

かるぼーとからスタートし、帯屋町商店街を通りかるぼーとを目指すたすきウォークでしたが、今年は台風のため距離を短めに、帯屋町商店街を“パレード”しました。



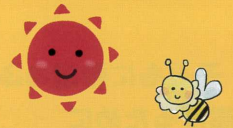
虐待防止の願いをこめて



城北中学校吹奏楽部の皆様
 民生委員、児童委員の皆様
 ご協力ありがとうございました。

児童虐待防止推進月間事業(広報・啓発事業)

- 高知県庁児童虐待防止横断幕掲示(平成29年11月1日～11月30日)
- 啓発ポスター・チラシなどの作成及び配布
- オレンジリボングッズの配布
 - *協力依頼 各市町村、児童福祉関係機関、保育園、学校、病院など
- 各種イベントでの啓発活動
 - *パネル掲示、ポスター掲示、チラシ・啓発グッズ配布等
 - ・ガーデンパーティー (平成29年5月27日) / 児童養護施設 若草園
 - ・第9回 みさとフェア(平成29年11月19日) / 三里中学校
 - ・第21回 じんけんふれあいフェスタ(平成29年12月10日) / 高知市中央公園
 - ・第3回 中村地域ふくしまつり(平成30年1月28日) / 四万十市中央公民館
- 広報
 - *県及び市町村広報・新聞広告・他の情報誌掲載
 - テレビ・ラジオ告知



啓発を支えるグッズたち



高知オレンジリボンキャンペーン活動に募金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡ししています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。子ども虐待のない社会を実現するために「オレンジリボン運動」とともに支え、オレンジの輪を拡げて下さいますよう、ご協力お願いいたします。



子どもを虐待から守るための5か条

(厚生労働省リーフレットより)

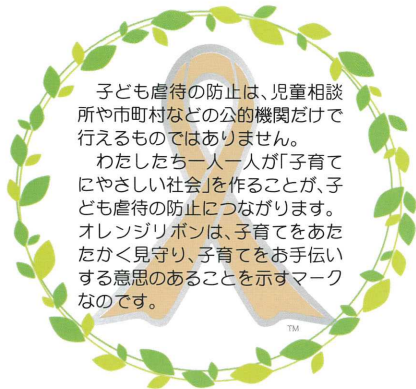
- ①「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告)(通告は義務=権利)
- ②「しつけのつもり」は言い訳(子どもの立場で判断)
- ③ひとりで抱え込まない(あなたにできることから即実行)
- ④親の立場より子どもの立場(子どもの命が最優先)
- ⑤虐待はあなたの周りでも起こりうる(特別なことではない)

あなたからの連絡が、子どもを虐待から守るための大きな一歩となります



募 金

皆様のご協力に感謝いたします。



子ども虐待の防止は、児童相談所や市町村などの公的機関だけで行えるものではありません。

わたしたち一人一人が「子育てにやさしい社会」を作ることが、子ども虐待の防止につながります。オレンジリボンは、子育てをあたたく見守り、子育てをお手伝いする意思のあることを示すマークなのです。

子どもに希望あふれた明るい未来を届けるために“子ども虐待予防の輪”をみんなで拡げていきましょう。
ご理解とご協力をお願いいたします。



● 共 催 ●
高知県

● 後 援 ●
高知県内 各市町村

高知県教育委員会
高知県保育士会
高知県警察
高知県民生委員児童委員協議会連合会
高知地方方法務局
高知県人権擁護委員連合会
高知県少年補導育成センター連絡協議会
高知県里親連合会
認定NPO法人カンガルーの会
全国児童家庭支援センター協議会
子どもの虹情報研修センター
高知大学

高知縣市町村社会福祉協議会連絡会
高知弁護士会
高知県医師会
高知県立大学
高知学園短期大学
高知県立幡多看護専門学校
高知医療学院
高知県医師会看護専門学校
高知県医師会准看護学院
高知福祉専門学校
高知リハビリテーション学院
土佐リハビリテーションカレッジ

平福福祉専門学校
龍馬看護ふくし専門学校
四万十看護学院
NHK高知放送局
KUTVテレビ高知
KSSさんさんテレビ
RKC高知放送
高知新聞社
朝日新聞高知総局
読売新聞高知支局
産経新聞社高知支局
毎日新聞高知支局

● 協 賛 ●

(財)高知県福祉活動支援基金

● 協力企業 ●

株式会社 大塚製薬工場

● 主 催 ●

高知オレンジリボンキャンペーン2017実行委員会

(社福)高知県社会福祉協議会・高知県児童養護施設協議会・高知県児童家庭支援センター協議会
実行委員長/高知県児童養護施設協議会 会長 谷本 恭子(児童養護施設 高知聖園天使園 園長)



* こどもや家庭のことで、困っていることや心配なことがあれば、お気軽にご相談ください *

児童家庭支援センター 高知みその

TEL 088-872-6488
高知市新本町1丁目7-30

児童家庭支援センター ひだまり

TEL 0889-20-0203
高岡郡佐川町甲1110-1

児童家庭支援センター わかくさ

TEL 0880-33-0258
四万十市下田2211

* 虐待かな?と思ったら、各市町村窓口・児童相談所に連絡してください *

高知県中央児童相談所

TEL 088-866-6791
高知市大津甲770-1

高知県幡多児童相談所

TEL 0880-37-3159
四万十市渡川1丁目6-21

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や、連絡内容に関する秘密は守られます。

高知家



児童相談所
全国共通
ダイヤル

189

子どもたちや子育てに悩む保護者のSOSの声をいちやくキャッチ!

~189番にかけると、お近くの児童相談所につながります~